

【内装専用】

ジョリパットシリーズ
エフェクトアート仕上げ
施工の手引き

適用品番

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

**アイカ工業株式会社
化成品カンパニー**

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー (水で 50 ~ 100% 希釈して使用)	18kg/缶	約 135 ~ 240 m ² (水希釈量で 変動)
	ジョリパットシーラー JS-90	1液水系アクリル白色シーラー	10kg/ ポリ容器	約 40 m ²
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系珪酸シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約 80 ~ 106 m²</u>
主材	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ</u> <u>標準色</u> <u>JP-100T</u> <u>(...数字)</u> <u>特注色</u> <u>JP-100</u> <u>(...英字、 ...数字)</u> T4000 以降の濃色を 推奨致します。	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ ペール缶	約 11 m ²
エフェクト 専用塗料	JC-55	変性アクリル樹脂 水性塗料	15kg/缶	約 75 m ²

セーフシーラー JS-800 は 2kg × 2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20 ~ 25 m²/セット)
使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい(肌外 JS-500、JS-800、石膏ボード JS-90 など)。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

< 主な施工道具 >

- ・ ジュラク・リシンガン 口径 4 ~ 6 mm
 推奨ガン：トヨオカ製作所 ジュラクガン
 アネスト岩田(株) リシンガン固定 MG - 1 D
- ・ コンプレッサー (2.2kW (3馬力) 以上：1台使用の場合)
- ・ カップガン 口径 1 mm
- ・ 中毛ローラー (J R - 6 1)

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ (平滑) 石膏ボードなど

<エフェクトアート仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	9~18%
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-90の場合

配 合	JS-90	10kg
塗 布 量	0.25kg/m ²	
施工方法	ローラー、刷毛	

1 JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

配 合	JP-100シーズ*	20kg
	清 水	1~2%
塗 布 量	1.1kg/m ²	
吹 圧 力	0.6~0.7MPa (6~7kgf/cm ²)	
施工道具	ジュカ・リソガン 口径 4~6mm	
	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ平滑になるように吹き付けてください。 凹凸が激しい場合、仕上がりが悪くなります。 	

夏期 4時間以上 冬期12時間以上 乾燥

3. 主材 上塗り

配 合	JP-100シーズ*	20kg
	清 水	0.5~1%
塗 布 量	約0.7kg/m ²	
吹 圧 力	0.6~0.7MPa (6~7kgf/cm ²)	
施工道具	ジュカ・リソガン 口径 4~6mm	
	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ平滑になるように吹き付けてください。 水希釈を多くし過ぎないようにしてください。 	

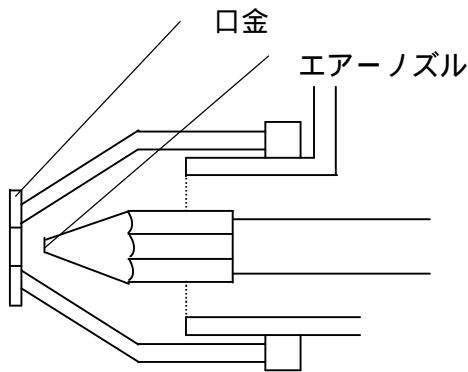
夏期 4時間以上 冬期12時間以上 乾燥

4. トップコート

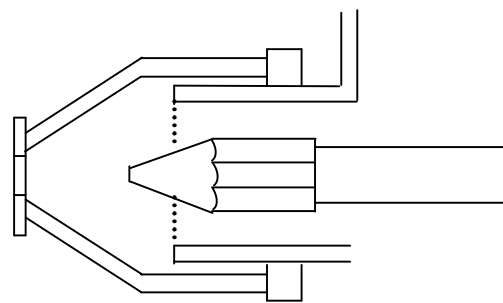
配 合	J C - 5 5	1 5 kg
塗 布 量	0 . 2 k g / m ²	
施工道具	中毛ローラー (J R - 6 1)	
・ 塗りむらのないよう、全面に塗布してください。		
・ 無希釈で使用してください。		
水で希釈した場合、塗料のダレや、乾燥後の塗りむら が目立ちやすくなります。		
<u>カップガンでも可。その場合はミスト状に均一に吹き 付けてください。</u>		

< 施工のポイント >

- ・ 材料の出る量をおさえてチラシて吹いてください。
- ・ 水を規定量以上入れないようにしてください。吹きムラやクレーターの原因になります。
- ・ ガンの口径と吹き圧力を厳守してください。仕上がり異常やムラの原因となります。
- ・ 塗布量についても厳守してください。クレーターや仕上がり異常の原因となります。
- ・ エアーノズルと口金部分の距離は 1 ~ 3 mm を推奨します。4 mm 以上離れると、意匠の粒が大きくなり、ムラや仕上がり不良の原因となります。



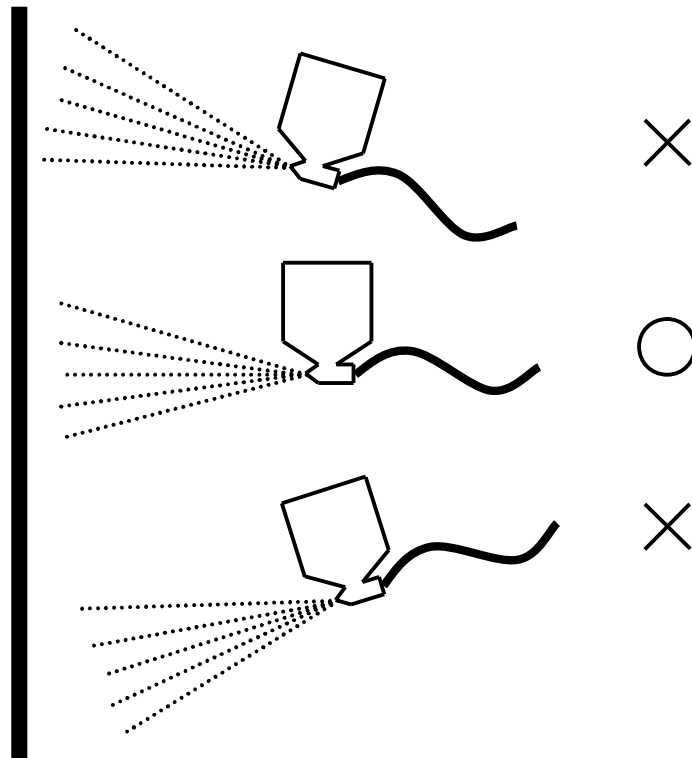
H
1 ~ 3mm



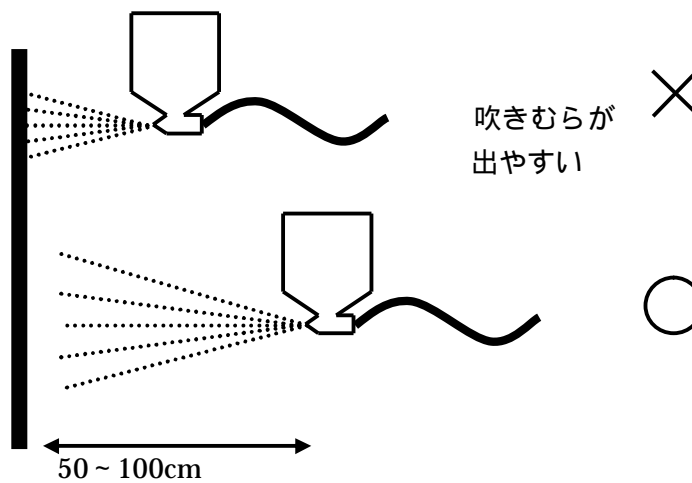
4 mm 以上

x

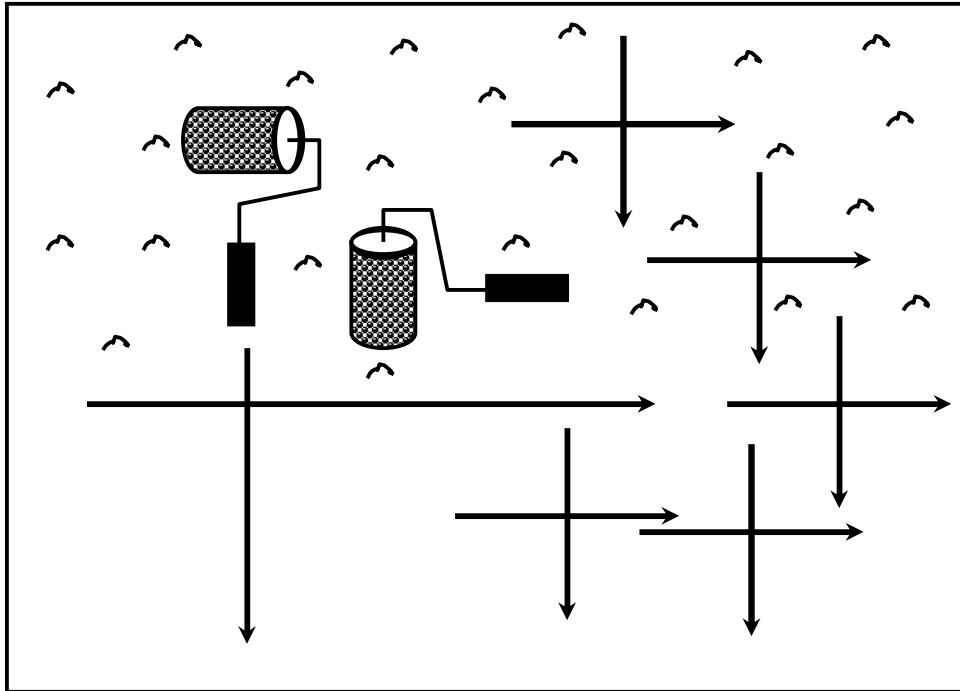
- ・吹き付け時、ガンは壁面にまっすぐ向けて吹くようにしてください。斜め吹きをしますと意匠(噴出す樹脂の玉の形状)が変わり、ムラなどにみえることがあります。斜め吹きが必要な場合は、吹き圧などで微調整して吹きつけてください。



- ・ガンを壁面に近すぎるとクレーターやムラが出来やすくなります。50～100cmが目安です。



- ・トップコートは中毛ローラー（JR-61）を十字に転がし、JC-55を均一になるように塗布してください。またトップコートはカップガンでミスト状に薄吹き付けることでも施工できます。



- ・エフェクト専用塗料は水希釈しないで使用して下さい。水で希釈すると塗料のダレが発生します。

< 施工の注意事項 >

- ・内装専用仕上塗材です。
- ・エフェクト専用塗料 JC-55 は水希釈しないで使用して下さい。水で希釈すると塗料のダレが発生します。
- ・エフェクトアート仕上げの主材には、T4000番台以降の濃色を推奨します。
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・気温5 以下、湿度85%以上、結露などが予測される条件下での施工は、硬化不良、ひび割

れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。

- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上